

平成28年度 島根大学大学院生物資源科学研究科修士課程（第2次）
環境資源科学専攻 小論文 問題 出題の意図

1 共通問題

地域貢献を進める島根大学に進学する学生は、地域に存在する生活環境・生産環境・自然環境の問題点や現状を十分に理解し、学士課程において身につけた生物資源科学に関する基礎学力と専門知識を基礎にして、社会に貢献する方策を考えていく必要がある。本設問はそれらに対する受験者の理解度を見る。

2 専門問題

問1

土壌環境における主要元素の物質循環およびそれに関わる微生物について、基本的な知識とその理解度を問う。

問2

湖沼水環境には内部負荷と外部負荷とがあるが、この設問は陸域側からの外部負荷に関するものである。湖沼に流入する河川群からの負荷流入は、特に降水量、降水パターンや降雨強度、また、流域内での土地利用や季節的な営農活動等の影響が大きい。本設問はそれらの関連性に関する理解度を見る。